

## 2020年東京オリンピック・パラリンピックCHIBA推進会議について

### 1 設置までの経緯

平成25年 9月	2020年オリンピック・パラリンピックの東京開催が決定
平成25年11月	県庁内に「千葉県オリンピック・パラリンピック戦略推進本部」を設置。オリンピック・パラリンピックに向け「オール千葉」体制で取組を推進するための指針となる基本方針を策定することとした。
平成26年 4月	基本方針策定に当たり、有識者の意見を伺うため「東京オリンピック・パラリンピック基本方針策定協議会」を設置。 「第1回策定協議会」を開催
平成26年 6月	「第2回策定協議会」を開催
平成26年 7月	戦略推進本部において、策定協議会における議論を踏まえて「2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた取組の基本方針」を決定
平成26年11月	「2020年東京オリンピック・パラリンピックCHIBA推進会議」を立ち上げ

### 2 会議の目的及び所掌事務

- ・ 基本方針に基づき、県、市町村や民間企業、団体、大学などが互いに取組の方向性を共有し、情報共有及び連携した取組を行う組織として設置する。（設置要綱第1条）
- ・ 官民連携による取組を実施するための戦略の策定・推進を統括する（設置要綱第2条）

### 3 戦略について

#### (1) 戦略に盛り込む事項

- ・ 基本方針に掲げる5つの「取組の方向性（柱）」に沿って、それぞれの取組の目標を示す。
- ・ その目標の実現に向け、企業・団体・行政などの各主体が取り組む事項、及び各主体が連携して取り組む事項を示す。

#### (2) 戦略の策定期間及び見直し

- ・ 平成26年度中を目途に戦略を取りまとめることとする。
- ・ 戦略は固定的なものとはせず、必要に応じて随時見直しを行うこととする。

【基本方針】

取組の方向性

(2) 人ともものスムーズな流れの確保

○年齢・障害を問わず観戦・観光を楽しむためのバリアフリー化の促進

東京オリンピック・パラリンピック開催を契機に千葉県を訪れる人々が、訪れたそれぞれの地域において、高齢者も障害のある人・障害のない人も一緒に観戦や観光を楽しめる旅・滞在を創り出していくため、バリアフリー化を促進します。



「バリアフリー化の促進」専門部会において、基本方針に基づき、目標と取組の内容について検討する。

【戦略のイメージ】

<目標>

東京オリンピック・パラリンピック開催を契機に、県内をスムーズに移動できるように、高齢者や障害のある人の視点に立った施設の整備などハード面でのバリアフリー化を一層促進します。また、高齢者や障害のある人、さらに外国人などが安心して滞在や観光を楽しむことができるよう、観光地や宿泊施設、駅などで適切なサポートができる人材の育成や情報提供の充実など、ソフト面でのバリアフリー化を進めます。さらに、パラリンピックの開催を契機として、障害のある人との交流を深めることなどにより、障害のある人への理解を広げるための取組も進めます。

これにより、千葉県を訪れる人々が、高齢者も障害のある人・障害のない人も、一緒に観戦や観光を楽しめるような地域づくりを進めます。

(※基本方針に基づき、具体的な取組を踏まえて加筆)

<主な取組の例>

- 施設の整備などハード面でのバリアフリー化
  - ・空港、駅などの旅客施設や車両等のバリアフリー化
    - エレベーター、トイレ、ホームドア、スロープ、内方線付き点状ブロックなどの設置、普及
    - ノンステップバスやリフト付きバスなど車両のバリアフリー化
  - ・大会関係施設及び宿泊・観光・ショッピングなどの施設や道路等のバリアフリー化
    - エレベーター、トイレ、視覚障害者誘導用ブロックの設置、段差解消など
- ソフト面でのバリアフリー化
  - ・人材育成
    - 障害のある人などに対応できる人材の育成
  - ・情報提供の充実
    - バリアフリーマップ、障害者対応アプリなどの普及促進
- 障害のある人などへの理解の促進
  - ・普及啓発
    - 障害のある人などに関するマークの普及
    - 広報・啓発や福祉教育の推進